

公共施設等へのネーミングライツ導入に関するアンケート調査の結果

福知山市のネーミングライツ事業にさらに参加いただくための可能性やご意見を調査し、今後本市が公募する対象施設の候補を検討するためアンケート調査を実施しましたので、一次受付分について、その結果を公表します。

1 調査期間

一次受付：令和7年9月1日（月）から9月30日（火）まで

※アンケート調査は、今後も市ホームページに掲載し受付しています。

2 結果概要（主な意見）

（1）ネーミングライツパートナーへの参加の意向

- ① 「参加に関心がある」と回答があった対象施設
三段池公園Bゾーン（総合体育館・児童科学館・武道館）
- ② 「参加に少し関心がある」とアンケート調査の全施設に対して回答がありました。
- ③ 契約期間の妥当性は5年間

（2）ネーミングライツ全般について

- ① 参加を検討する場合の重視項目としては、費用対効果やネーミングライツ料など。
- ② 企業が応募しやすい条件等としては、年齢層別の施設利用者数、広告内容の明示など費用対効果の情報を事前に公開することなど。
- ③ ネーミングライツパートナーのメリット（効果）としては、企業知名度の向上、新聞・広報誌への掲載など。
- ④ アンケート調査以外で導入が見込める施設としては図書館。
- ⑤ その他のご意見等
対象施設がお客様と結びついていないと検討しにくい。企業のPR施策と合致すれば適用拡大もありうる。

（3）ネーミングライツ以外の有料広告媒体に対するご意見やご提案

公的団体でSNSを活用したら広域な広報ができる。歩道橋及び市バスへの広告掲示

(4) ネーミングライツに関心がない理由

広告効果が期待できない、他の手段で広告活動をしている、企業として必要性を感じない、費用がかかるなど。

(5) 事業に対するご意見

ネーミングライツに参加することにより、施設の維持管理に役立っていることも、アピールいただきたい。

3 今後の進め方

アンケート調査のご意見、結果を踏まえ、ネーミングライツの公募に向けて準備を進めます。